

【体育】

<p>■児童の状況</p>	<p><低学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学習にも、前向きに楽しみながら取り組んでいる児童が多い。 ・ルールを守って運動したり、友達と関わりながら励まし合ったりしている児童が多い。 ・体力テストの「握力」「ソフトボール投げ」が低い傾向にある。 <p><中学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学習にも、前向きに楽しみながら取り組んでいる児童が多い。 ・どんな運動にも、自分からチャレンジしようとする児童が多い。 ・体力テストの「反復横跳び」「20メートルシャトルラン」「ソフトボール投げ」が低い傾向にある。 <p><高学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・どの学習にも、前向きに楽しみながら取り組んでいる児童が多い。 ・ICT 機器を使い、資料を見ながら運動したり、自分の様子を振り返ったりしている。 ・自らたくさん運動に取り組んでいる児童がいる一方で、自ら運動に取り組めない児童もいる。 ・体力テストの「反復横跳び」「20メートルシャトルラン」「ソフトボール投げ」が低い傾向にある。
<p>■指導についての課題</p>	<p><低学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題をもたせられる運動遊びを精選して取り入れる。 ・毎回の授業で、心と体をほぐしてから体育の学習に取り組む。 <p><中学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・課題をもたせられる運動を精選して取り入れる。 ・児童の実態に合わせた授業づくり、場づくりを工夫する。 <p><高学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入で動きの基となる運動遊びを充分に取り入れる。 ・運動の楽しさを実感できる授業作りを行う。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<p><低学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・心と体をほぐしてから運動に取り組むことができるようにするために、授業の始めに友達と関わりながら、体ほぐし運動や導入の運動に取り入れる。 <p><中学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童の実態に合わせて、ゲームや用具を設定する。技能を上げるために、楽しみながら運動することを大切にし、「ゲーム性」を取り入れながら、運動を何度も行うことができるようにする。 <p><高学年></p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業の導入で動きの基となる運動遊びを充分に取り入れ、恐怖心を少しでも減らし、授業で行う運動の感覚に生かすことができるようにする。 ・ゲームや運動の「楽しさ」を児童が感じられるような、授業づくりを行う。単元の始めの学習で、ミニゲームをしたり、手本を見せたりして、運動への意欲を高める。ゴール型の運動では、毎回の授業で「シュートゲーム」を行い、「シュートする楽しさ」を味わうことができるようにする。 <p><全体></p> <ul style="list-style-type: none"> ・体育朝会などで「多様な動きをつくる運動遊び」や「体の動きを高める運動」「投げる運動」「俊敏性を高める運動」などを取り入れ、運動する機会を確保し、様々な体の動かし方を身に付けさせたい。 ・OJTや外部講師を招き、体育の授業作りや児童の動かし方など、教職員で学ぶ機会をつくる。